



県政報告 県政を身近に

令和5年
2023
秋季号

Vol.49

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

今年には関東大震災から100年を迎えたことから、県議会の主催で9月1日の防災の日を中心に地震を想定したシェイクアウト訓練を行いました。約60万人の県民、団体の皆さんが参加され、防災意識を共有することができました。参加された皆様に感謝申し上げますとともに、日頃の災害に対する備えをお願いします。

私は、県議会の警察危機管理防災委員会の委員として、安全、安心な郷土埼玉をつくるために、引き続き県の防災対策の強化に取り組んでまいります。

シェイクアウト埼玉

～県内一斉防災訓練～が行われる

関東大震災から100年目にあたる9月1日、県議会が県民の参加を働きかけて、県内一斉シェイクアウト訓練が実施されました。個人、家庭、小中学校をはじめ、企業、団体、市町村役場など、当初目標人数を大きく上回る約59万5千人が登録し参加しました。

この訓練を通じて、災害伝言ダイヤルの体験利用や避難経路・場所の確認なども行っただけ、広く防災意識の向上が図られました。



▲シェイクアウト訓練の様子(越生小学校)



▲シェイクアウト訓練の様子(武内事務所)

令和5年9月定例県議会 (9月22日～10月13日)

一般会計補正予算をはじめ、条例(5件)、工事請負契約の締結(朝霞児童相談所、越谷警察署庁舎新築工事など4件)、財産の取得(抗インフルエンザ薬)など17件の議案が承認されました。

補正予算案 165億1,057万9千円を承認

高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続や企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大のためのイベント開催に要する経費に予算措置を講じるとともに、公共事業の追加など当面对応すべき事業について補正予算を編成しました。

主な内訳

1 高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続
69億4,946万6千円

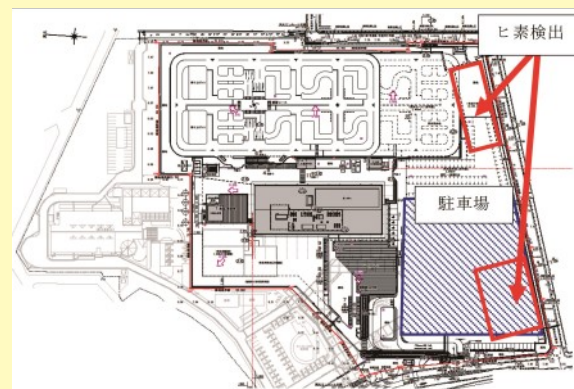
2 企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大
1,062万9千円
●プロ選手によるエキシビジョンマッチや体験会の開催
●高校生を対象としたトレーニングキャンプの開催

3 公共事業の追加・適正工期の確保
21億6,345万3千円
●道路・街路事業(21か所)、河川事業(13か所)、公園事業(1か所)
●繰越明許費の設定
94億2,707万1千円

4 高齢者講習施設庁舎建設費の継続費の変更
4億8,845万5千円

現在建設中の高齢者講習施設(さいたま市岩槻区)の駐車場予定地からヒ素が検出され土壌の処分が必要となったため、令和5年度までの事業期間を令和6年度まで延長するものです。総額が6億753万円増え、全体で68億3,425万円となります。

施設の開所時期は、土壌処分は庁舎本体工事に影響が及ばないため、当初計画どおり令和6年5月の予定です。



▲高齢者講習施設の見取り図

子どもの放置による事故防止をめざした条例案が廃案

子どもの放置による事故を防ぐことを目的とした「虐待禁止条例の一部改正条例」案が、9月定例会中に自民党議員団から提出されました。改正条例案では、小学校3年生以下の子どもを車内や住宅などに残して外出しないことを保護者に義務付け、4～6年生については努力義務とする。また、虐待を受けた子どもを発見した場合の県民の通告・通報を義務化しようとする条項を加えようとしたものです。

この条例案について、県民の皆様から多くの懸念や疑問の声が寄せられたため、諸般の事情を勘案して県議団から条例案の撤回の申し出があり、本条例案は廃案となりました。

5 地域医療介護総合確保基金への積み立て
68億9,857万6千円

●高齢者施設等における感染発生時のサービス提供体制の継続確保への支援財源として措置される国庫支出金を基金に積み立てるものです。



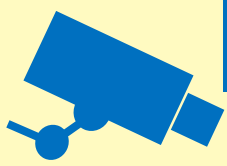
越生交番建て替えへ

地域の安全を守る拠点として親しまれてきた西入間警察署越生交番が、施設の老朽化のため現在地に改築されることになりました。昭和49年4月、現在の場所に西入間警察署越生幹部派出所として設置され、平成6年11月越生交番に名称が変更され今日に至っています。

令和5年度に基本設計を行い、令和6年度中に完成予定です。



▲まもなく建て替えられる越生交番



防犯カメラの設置〔県が支援〕

犯罪を起こさせにくい地域環境づくりを推進するため、防犯カメラの設置を行う市町村に対し、県が「防犯環境整備推進補助金」を交付しています。

補助額については、原則として対象経費の3分の1以内ですが、財政力や犯罪状況などを勘案して県が指定する市町村は、補助率が3分の2となります。県指定市町村の状況は、令和2、3年度が越生町、鳩山町、令和4年度が毛呂山町、鳩山町、令和5年度が3町となっています。

【これまでの実績】※交付額の単位は千円

		R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
毛呂山町	交付額 (設置か所)	2,510 (6か所)	2,236 (6か所)	要望なし	要望なし
	県指定	○	○		
鳩山町	交付額 (設置か所)	3,050 (6か所)	1,685 (6か所)	1,298 (3か所)	1,371 (3か所)
	県指定	○	○	○	○
越生町	交付額 (設置か所)	要望なし	要望なし	要望なし	要望なし
	県指定	○		○	○



▲防犯カメラの設置例(毛呂山町川角)



▲防犯カメラの設置例(鳩山町今宿)

武内まさふみの活動日誌

【委員会視察】

警察危機管理防災委員会

8月31日、警察危機管理防災委員会は、東京消防庁の即応対処部隊(東京都葛飾区)と千葉運転免許センター(千葉市)を視察しました。

即応対処部隊は、広域的な自然災害に特化して、エアポートをはじめ水陸両用車両、高機動救助車などの特殊車両を備えており、先遣隊としての役割を担っています。



▲東京消防庁即応対処部隊の皆さんと

また、千葉運転免許センターでは、運転免許更新時に優良運転者がオンライン講習をできるモデル事業を行っています。来年度には、自動受付機や事前予約システムを導入する予定です。埼玉県でも今後こうしたシステムを導入することになるでしょう。

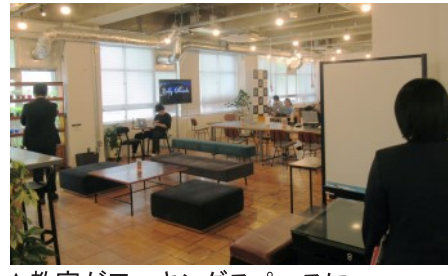


▲事業の説明を受ける委員

地方創生・行財政改革特別委員会

9月11日~12日、当該特別委員会は、地域活性化の取組事例として「なごのキャンパス」(名古屋市)と「とよたエコフルタウン」(豊田市)を視察しました。

「なごのキャンパス」は、廃校となった小学校を市が2019年にリノベーションして産業・ベンチャーを育成する施設に転換し、現在トヨタ不動産(株)が借り受けて運営されています。遊休施設の活用や産業活動との連動など、地域活性化の参考になりました。



▲教室がワーキングスペースに

また、「とよたエコフルタウン」は、SDGs未来都市に指定されている豊田市が、持続可能な社会の実現に向けた取組を紹介する全国初の施設です。ロボットや様々な移動支援のための乗り物を展示しています。



▲移動用電動車に試乗

監査委員会から知事へ 監査意見書提出

9月14日、県監査委員から知事に対して令和4年度決算等について、意見書を提出しました。監査委員4名のそれぞれから説明の後、意見書が砂川副知事に手渡されました。



▲砂川副知事に意見書提出

赤い羽根共同募金の街頭活動

10月3日、浦和駅、大宮駅、川口駅において社会福祉議員連盟の県議が主体となって、赤い羽根共同募金の街頭活動を行いました。



▲知事・議長とともに(浦和駅)

防犯のまちづくりキャンペーンの街頭活動

10月11日、浦和駅において防犯のまちづくり推進議員連盟の県議により、防犯キャンペーンを

行いました。



▲防犯グッズを配布

西入間地区地域安全・暴力排除推進大会

10月14日、ウィズもろやま(毛呂山町)において表彰並びに大会宣言が行われました。



▲来賓としてあいさつ

12月定例県議会で武内県議が一般質問

12月定例県議会が12月4日から22日までの日程で開会される予定です。一般質問は8日から14日まで行われます。武内県議は14日(木)15時から登壇する予定です。
※県議会の様子は随時インターネットでも中継されます。県議会のHPからご覧ください。右のQRコードからアクセスできます。

